


芦屋市立美術博物館

2025年9月20日（土）—11月16日（日）

特別展「山崎隆夫 その行路 —ある画家／広告制作者の独白」

主 催：芦屋市立美術博物館
後 援：兵庫県、兵庫県教育委員会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、朝日新聞神戸総局、神戸新聞社、NHK神戸放送局、Kiss FM KOBE
助 成：芸術文化振興基金 
協 力：サントリーホールディングス株式会社、株式会社サン・アド

作品リスト

*本リストの番号と実際の展示順は異なる場合があります。

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横×高さcm)	所蔵者	初出展覧会
第1章 画家としての出発 —師・小出檜重と阪神間モダニズム							
I-1	山崎隆夫	人形	1929年頃	油彩、カンヴァス	25.0×21.5	芦屋市立美術博物館	
I-2	小出檜重	仏蘭西人形	1923年	油彩、カンヴァス	45.6×37.8	芦屋市立美術博物館	
I-3	小出檜重	横たわる裸女A	1928年	油彩、カンヴァス	50.7×69.4	芦屋市立美術博物館	第15回二科展
I-4	前田藤四郎	散髪屋	1929年	リノカット、紙	32.5×17.0	大阪府20世紀美術コレクション	第7回春陽会展
I-5	前田藤四郎	美しきエスプリ	1931年	リノカット、紙	35.0×54.5	大阪府20世紀美術コレクション	
I-6	井上覺造	涸川	1949年	油彩、カンヴァス	44.0×51.5	芦屋市立美術博物館寄託	
第2章 働きつつ描く —「夜の静物」の時代							
II-1	山崎隆夫	夏の卓	1932年	油彩、カンヴァス	31.8×41.0	茅ヶ崎市美術館	
II-2	山崎隆夫	ガラスの静物	1933年	油彩、カンヴァス	45.5×33.3	個人	
II-3	小出檜重	草花静物	1928年	油彩、カンヴァス	53.0×45.5	個人	
II-4	山崎隆夫	卓上果実	1935年	油彩、カンヴァス	130.0×89.5	芦屋市立美術博物館	第5回独立展
II-5	山崎隆夫	揺椅子	1935年	油彩、カンヴァス	91.0×72.5	芦屋市立美術博物館	第5回独立展
II-6	山崎隆夫	窓	1936年	油彩、カンヴァス	130.0×162.0	芦屋市立美術博物館	第6回独立展
II-7	山崎隆夫	卓上の電話	1937年	油彩、カンヴァス	73.0×100.0	芦屋市立美術博物館	第7回独立展
II-8	林 重義	静物	1935年	油彩、カンヴァス	27.5×40.8	個人（神戸市立小磯記念美術館寄託）	
II-9	林 重義	雪景山水	1938年	油彩、カンヴァス	72.9×60.8	個人（神戸市立小磯記念美術館寄託）	
II-10	林 重義 (伊藤 廉、川口軌外らとの合作)	京都朝日会館壁画下絵	1935年	グアッシュ、紙	69.4×85.7	個人	
II-11	山崎隆夫	花と影の静物	1938年	油彩、カンヴァス	91.5×73.0	芦屋市立美術博物館	第13回国展
II-12	山崎隆夫	花と布	1940年	油彩、カンヴァス	72.0×89.5	個人	第15回国展
II-13	山崎隆夫	花影	1946年	油彩、ボード	31.8×57.8	個人	
第4章 抽象絵画／モダンアートへの接近							
IV-1	山崎隆夫	卓上の弁証法	1957年	油彩、カンヴァス	116.5×91.0	芦屋市立美術博物館	第31回国展
IV-2	山崎隆夫	ねらわれる月	1958年	油彩、板	91.0×182.0	芦屋市立美術博物館	
IV-3	吉原治良	作品B	1953年	油彩、カンヴァス	130.5×96.8	芦屋市立美術博物館	第1回モダンアート・フェア
IV-4	須田剋太	作品	1956年	油彩、ドンゴロス	131.0×97.7	大阪府20世紀美術コレクション	
IV-5	植木 茂	トルソ	1978年頃	木	45.0×70.0×140.0	芦屋市立美術博物館	

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(縦×横×高さcm)	所蔵者	初出展覧会
IV-6	津高一	声	1956年	油彩、カンヴァス	91.0×116.5	芦屋市立美術博物館	
IV-7	東 貞美	作品(かたまり)	1958年	油彩、カンヴァス	143.3×90.0	芦屋市立美術博物館	第32回国展
第5章 開花 — 寿屋宣伝部で築いた一時代							
V-50	山崎隆夫	ある全集のある静物	1974年頃	油彩、カンヴァス	72.7×60.6	公益財団法人開高健記念会 *開高健 旧蔵	
V-51	山崎隆夫	二重富士 (E.WESTONによる)	不詳	油彩、インク、カンヴァス	41.0×31.8	公益財団法人開高健記念会 *開高健 旧蔵	
V-52	山崎隆夫、 開高 健	無題《あちらで真実のことは…》	1974年頃	油彩、インク、カンヴァス	31.9×41.0	個人	開高健との二人展「路上の邂逅」(今橋画廊、1974年)
V-53	山崎隆夫	光る海 (茅ヶ崎)	不詳	油彩、カンヴァス	32.0×23.8	株式会社美術著作権センター *柳原良平 旧蔵	
第6章 絵画への執念 茅ヶ崎へ — 漂う視線と多様なモチーフ							
VI-1	山崎隆夫	白の静物	1974年	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	個人	
VI-2	山崎隆夫	夏の静物 (ガラスと西瓜)	1980年	油彩、カンヴァス	22.0×27.3	茅ヶ崎市美術館	
VI-3	山崎隆夫	金魚のいる卓上 (身上玩物)	1983年	油彩、カンヴァス	91.0×116.7	茅ヶ崎市美術館	
VI-4	山崎隆夫	白布上の透明静物	不詳	油彩	86.9×86.8	茅ヶ崎市美術館	
VI-5	山崎隆夫	相似形の倒影	1965年	油彩、板	97.0×194.0	茅ヶ崎市美術館	
VI-6	山崎隆夫	黒い河	1966年	油彩、カンヴァス	163.0×97.0	芦屋市立美術博物館	第40回国展
VI-7	山崎隆夫	風化する散華	1968年頃	油彩、板	129.0×91.3	茅ヶ崎市美術館	
VI-8	山崎隆夫	きつねのよめいり (富嶽シリーズより)	1969年	油彩、コラージュ、カンヴァス	162.0×130.5	芦屋市立美術博物館	第43回国展
VI-9	山崎隆夫	富士に立つ影 (白の風景)	1975年	油彩、カンヴァス	192.5×96.0	サントリー白州蒸溜所	第49回国展
VI-10	山崎隆夫	行書富士図 (白・黒)	1976年 (1984年加筆)	油彩、カンヴァス	116.5×91.0	芦屋市立美術博物館	第50回国展
VI-11	山崎隆夫	楷書富士図 (紅・白)	1976年 (1984年加筆)	油彩、カンヴァス	116.5×91.0	芦屋市立美術博物館	第11回関西国展
VI-12	山崎隆夫	燃え上る雲	1985-87年	油彩、カンヴァス	140.0×110.0	サントリー白州蒸溜所	
VI-13	山崎隆夫	雪の操車場 (東神奈川)	1982年	油彩、カンヴァス	100.0×72.7	茅ヶ崎市美術館	
VI-14	山崎隆夫	赤坂見附・朝	不詳	油彩、カンヴァス	65.2×91.0	茅ヶ崎市美術館	
VI-15	山崎隆夫	矢狭間	1986年	油彩、板	90.9×90.9	茅ヶ崎市美術館	第60回国展
VI-16	山崎隆夫	山下雷電	1987年	油彩、板	145.5×112.1	茅ヶ崎市美術館	
VI-17	山崎隆夫	不詳	不詳	油彩、カンヴァス	44.7×37.0	個人	
VI-18	山崎隆夫	芦屋川	1988年	油彩、カンヴァス	60.5×72.5	芦屋市立美術博物館	
VI-19	山崎隆夫	萩の庭 (興福院)	1987年	油彩、カンヴァス	64.0×79.0	サントリー白州蒸溜所	個展 (日本橋三越、1987年)
VI-20	山崎隆夫	大池寺刈込庭	1989年	油彩、コラージュ、カンヴァス	97.0×130.0	芦屋市立美術博物館	第63回国展